

ビジネスアイデアの概要

欧州では文化財保存、国内ではインフラ長寿命化と地域により課題の差別化を図りつつ、以下の3本立ての事業を展開する。

- 自給型センサー販売（売切り型）
 - センサーにの結果を処理し安全性を自動で評価する診断プログラム（年間保守型）
 - 文化財・インフラの一括安全管理を請け負う（年間委託契約型）
- ユーザーは自給型センサーを現地に設置するだけでよく、**電源確保を含め完全自動自立型の安全管理システムを提供する**ことが最大の特徴である。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- 欧州の文化財に適用できる自給型センサーのサンプル製作
- 欧州の世界遺産にて自給型センサーのPoC実験
- スタートアップ立ち上げ準備（基本事業方針策定、法人化を見据えた組織構築、国内潜在顧客の発掘、資金調達計画立案）

事業化の見通し

- 本事業提案は2024年にバルセロナ地下鉄運営会社から地下鉄振動を受ける歴史的建造物の安全性に関して相談を受けたことに端を発する。
- すでに欧州各国の文化財所有者・管理者や建築設計事務所から購入・契約希望がある。文化財の管理責任者と合意があり、顧客発掘済みであることが本提案における一番の強みである。



事業者情報

- 遠藤 洋平（信州大学・ISCE拠点・拠点長）
- 是津信行/佐藤光秀/林俊弘（ISCE拠点・参画教員）



ビジネスアイデア概要図等

